

地域計画(変更案)

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年8月31日 (第2回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	都城市 (45202)
地域名 (地域内農業集落名)	西岳北部 (市の久保、新恍台、戸の口、横尾、片添、上牛の脛、東牛の脛、西牛の脛、上馬渡、山中、尾首山)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	356.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	269.1 ha
② 田の面積	62.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	207.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha

(2) 地域農業の現状及び課題

【地域の状況】 ・当地区は、畑の割合が多く、現在は、主に飼料を生産している。 ・地区の大半は山沿いの地形であり、耕作条件が不利な土地(奥地の不整形な圃場や鳥獣害を受ける土地等)が耕作放棄されている。 ・耕作放棄された農地は定期的に草刈りなどを行い、保全管理されている場合も見られるが、管理を行う人が高齢化していることもあり、早急に引き受け先がみつからなければ山林化する恐れがある。 ・地区内の農地は大半が傾斜地にあり、高低差が大きいため、農地の集約化をしたとしても大幅な農作業の効率化は見込めない。 【人口減少・高齢化】 ・農地の貸付等の意向は多いが、農地利用の規模拡大意向がある農業者が地区内にはほとんどいない。 ・後継者がいない上に高齢化が進み、労働力が絶対的に不足している。そのため、労働力確保の問題が深刻で経営維持が困難である。 ・農地の保全のためには新たな農地の受け手の確保が必要不可欠となっている。 ・規模拡大のために労働力を確保する場合、市街地からは遠く、また、地区内の集落は過疎化が進行するとともに高齢化していることから、労働力の確保が非常に困難である。 【基盤整備】 ・用排水路が土砂で埋まっている事例があり、そのため圃場の排水不良や用水の取水が不可能になって水田としての利用ができなくなり、耕作条件が悪化した農地がある。 ・不整形な農地や農道の幅員が狭いため、大型機械での作業ができない。・スプリンクラーを利用した営農を行いたいので水が必要。 ・圃場に石や岩が出てくる。また、竹が入り込む。・新燃岳噴火以降、地盤が緩くなった。 【鳥獣被害】 ・イノシシ、シカ、アナグマ、カラスの鳥獣害がある。耕作する上で防護柵の設置や捕獲等の対策が必須となっているが、防護柵の設置や管理には多大な費用や労力が必要である。 【保全・管理等】 ・道路に竹や倒木が多く、整備の必要性は感じるが、人手不足のため管理ができない。 ・大型トラックの通行量が多いため、道路の傷みがひどく農作業や交通安全の面でも危険が増えた。 ・所有者不明や遊休農地、耕作放棄地が確認できる。・境界不明な農地が存在する。 【集積・集約】 ・農地が点在しており、作業効率の向上や経費節減のためには集約が必要である。 【環境】 ・農地等への空き缶等の不法投棄が多数見受けられる。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・今後、地区内の農業担い手の経営体数の大幅な減少が見込まれるが、地区外から大規模な畜産業者の参入が増えており、今後は、飼料の生産等で畜産施設と周辺農地を一体的に利用する可能性を検討して土地の有効活用を推進する。 ・当地区は大規模な畜産農家が多いが、農地を利用しない経営形態もある。今後は、耕畜連携の取組として堆肥利用を推進し、飼料生産を図る。 ・水田利用を活用した普通作物(主食用米、加工用米)を基本としつつ、園芸作物(サトイモ、施設キュウリ、ゴーヤ、自然薯)や飼料作物(トウモロコシ、牧草、飼料用米)、工芸作物(茶)等の団地化を形成する。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・農地中間管理機構への貸付を進めつつ、担い手への農地の集積・集約化を基本とする。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	62.8	%	将来の目標とする集積率 80 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・既存の担い手が地区外の耕作地を地区内に集積・集約化することや、地区外の認定農業者、新規就農者等の受入れを行うことで農地利用の集積・集約化を促進する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積・集団化の取組	
・将来の経営農地の集約化を目指し、農地所有者は、原則として、農地を農地中間管理機構に貸し付けていく。	
(2)農地中間管理機構の活用方法	
・今後、農地の相続等に伴い地権者が地区外に在住する場合が多くなることが予想されることから、賃料の支払いや貸借契約を円滑に進めるために農地中間管理機構を活用していく。 ・担い手が病気・怪我や高齢化等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地の新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、農地中間管理機構を通じて担い手への貸付けを進めていく。	
(3)基盤整備事業への取組	
・地区内の農地は基盤整備済みの水田が多いが、耕作条件の改善や水路管理の負担軽減に向けて農道の拡幅や水路整備等を検討をしていく。	
(4)多様な経営体の確保・育成の取組	
・地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、関係機関と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。	
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組	
・作業の効率化が期待できる作業は委託を検討する。	

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①鳥獣被害防止対策	
・すでに電気柵や侵入防止柵の設置を実施している区域が多いが、今後は地区内で被害防止対策施設の定期的なメンテナンスを行うための体制を確保するように努める。 ・加害する鳥獣に応じた対策を検討することとするが、侵入防止柵の未設置地区については、各種補助事業を活用して侵入防止柵の整備をすすめる。	
⑦保全・管理等	
・不耕作になっているが、草刈り等の保全管理はしている農地が多くなってきている。荒廃地化した場合、周辺への影響が大きい農地については、継続的に保全管理する体制を検討する。 ・集落の農地が維持管理できるような取組(多面的機能支払制度の活用等)を検討する。	

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	96経営体		185.69 ha	0 ha		165.59 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

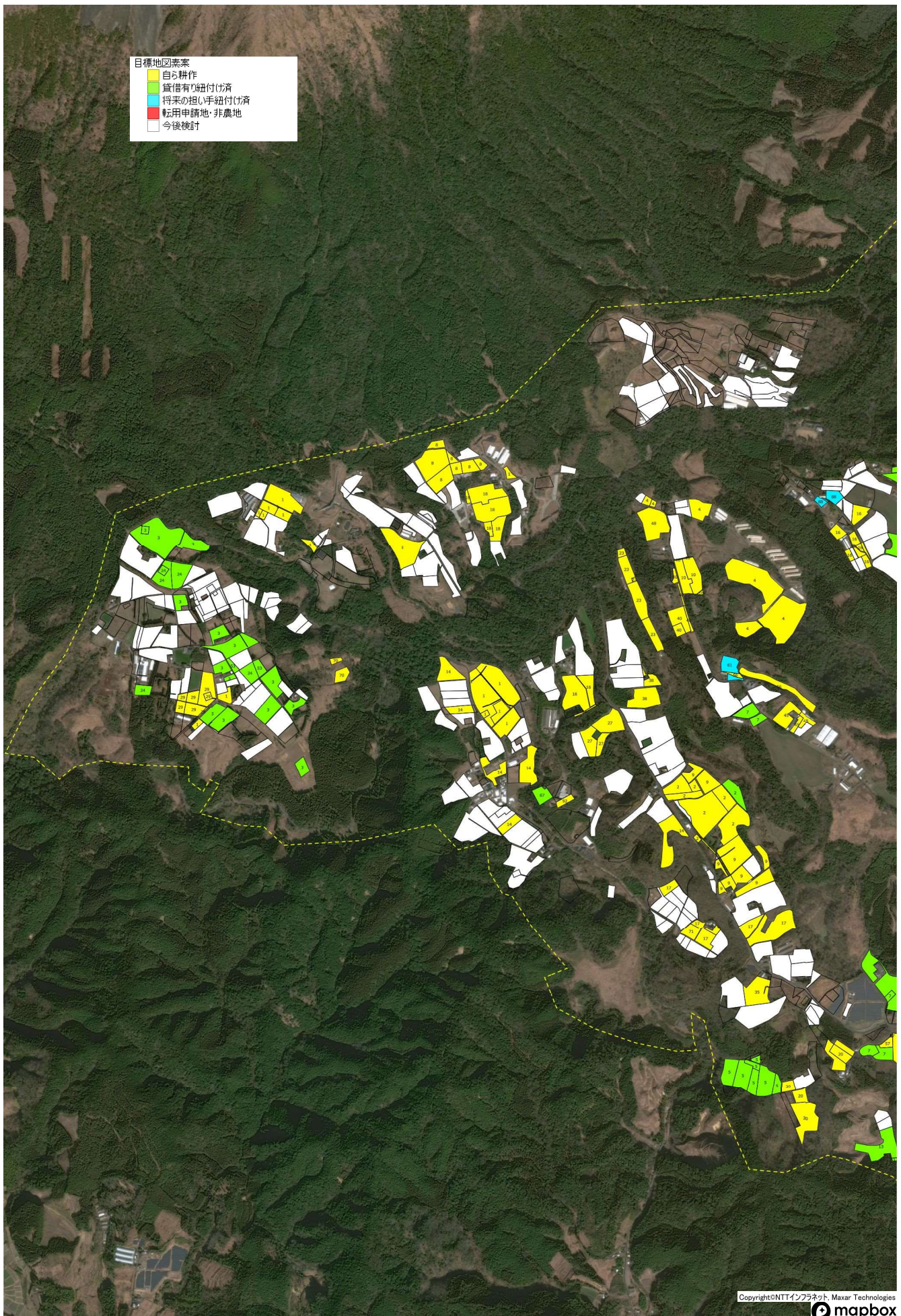
6 目標地図(別添のとおり)

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	肉用牛一貫専業	26.45 ha	ha	肉用牛一貫専業	25.89 ha	ha	1	
2	認農	肉用牛肥育専業	7.67 ha	ha	肉用牛肥育専業	7.67 ha	ha	2	
3	認農	露地野菜複合	7.05 ha	ha	露地野菜複合	7.05 ha	ha	3	
4	認農	養豚一貫専業	6.08 ha	ha	養豚一貫専業	6.08 ha	ha	4	
5	認農	工芸作物(茶)複合	5.92 ha	ha	工芸作物(茶)複合	5.92 ha	ha	5	
6	認農	露地野菜複合	5.72 ha	ha	露地野菜複合	5.59 ha	ha	6	
7	到達	工芸作物(茶)複合	5.13 ha	ha	工芸作物(茶)複合	5.13 ha	ha	7	
8	認農	養豚一貫専業	5.89 ha	ha	養豚一貫専業	4.55 ha	ha	8	
9	到達	肉用牛繁殖複合	5.69 ha	ha	肉用牛繁殖複合	4.07 ha	ha	9	
10	認農	酪農専業	3.95 ha	ha	酪農専業	3.95 ha	ha	10	
11	認農	肉用牛繁殖専業	3.89 ha	ha	肉用牛繁殖専業	3.75 ha	ha	11	
12	到達	水稻複合	1.33 ha	ha	水稻複合	3.65 ha	ha	12	
13	到達	水稻複合	3.49 ha	ha	水稻複合	3.49 ha	ha	13	
14	到達	肉用牛繁殖	3.48 ha	ha	肉用牛繁殖	3.36 ha	ha	14	
15	到達	養鶏(ブロイラー)専業	3.14 ha	ha	養鶏(ブロイラー)専業	3.14 ha	ha	15	
16	到達	肉用牛肥育専業	3.99 ha	ha	肉用牛肥育専業	2.97 ha	ha	16	
17	到達	水稻複合	2.80 ha	ha	水稻複合	2.80 ha	ha	17	
18	認農	養鶏(ブロイラー)複合	3.40 ha	ha	養鶏(ブロイラー)複合	2.67 ha	ha	18	
19	到達	肉用牛繁殖複合	2.45 ha	ha	肉用牛繁殖複合	2.34 ha	ha	19	
20	到達	養鶏	2.32 ha	ha	養鶏	2.32 ha	ha	20	
21	到達	肉用牛繁殖専業	2.45 ha	ha	肉用牛繁殖専業	2.24 ha	ha	21	
22	利用者	養豚一貫専業	0.00 ha	ha	養豚一貫専業	2.22 ha	ha	22	
23	認農	養豚一貫専業	2.19 ha	ha	養豚一貫専業	2.19 ha	ha	23	
24	利用者	酪農専業	0.43 ha	ha	酪農専業	2.11 ha	ha	24	
25	到達	露地園芸	5.94 ha	ha	露地園芸	1.81 ha	ha	25	
26	到達	和牛	1.84 ha	ha	和牛	1.78 ha	ha	26	
27	到達	肉用牛肥育専業	1.75 ha	ha	肉用牛肥育専業	1.75 ha	ha	27	
28	到達	肉用牛繁殖複合	1.94 ha	ha	肉用牛繁殖複合	1.65 ha	ha	28	
29	認農	養鶏(ブロイラー)専業	2.15 ha	ha	養鶏(ブロイラー)専業	1.64 ha	ha	29	
30	認農	椎茸複合	1.60 ha	ha	椎茸複合	1.56 ha	ha	30	
31	認農	肉用牛肥育複合	2.44 ha	ha	肉用牛肥育複合	1.52 ha	ha	31	
32	到達	露地園芸複合	1.49 ha	ha	露地園芸複合	1.49 ha	ha	32	
33	到達	水稻複合	1.56 ha	ha	水稻複合	1.47 ha	ha	33	
34	到達	露地園芸複合	1.46 ha	ha	露地園芸複合	1.46 ha	ha	34	
35	認農	肉用牛繁殖専業	1.39 ha	ha	肉用牛繁殖専業	1.39 ha	ha	35	
36	認農	肉用牛一貫専業	3.45 ha	ha	肉用牛一貫専業	1.39 ha	ha	36	
37	到達	肉用牛繁殖	1.42 ha	ha	肉用牛繁殖	1.33 ha	ha	37	
38	到達	肉用牛肥育専業	2.01 ha	ha	肉用牛肥育専業	1.19 ha	ha	38	
39	到達	水稻複合	1.44 ha	ha	水稻複合	1.14 ha	ha	39	
40	利用者	養鶏	1.12 ha	ha	養鶏	1.12 ha	ha	40	
41	到達	肉用牛一部一貫専業	1.08 ha	ha	肉用牛一部一貫専業	1.08 ha	ha	41	
42	認農	肉用牛繁殖複合	1.07 ha	ha	肉用牛繁殖複合	1.07 ha	ha	42	
43	到達	水稻	1.30 ha	ha	水稻	1.01 ha	ha	43	
44	利用者	水稻複合	0.97 ha	ha	水稻複合	0.97 ha	ha	44	
45	認農	肉用牛一貫専業	1.94 ha	ha	肉用牛一貫専業	0.96 ha	ha	45	
46	利用者	水稻複合	0.95 ha	ha	水稻複合	0.95 ha	ha	46	
47	利用者	水稻複合	0.97 ha	ha	水稻複合	0.92 ha	ha	47	
48	利用者	和牛	0.94 ha	ha	和牛	0.89 ha	ha	48	
49	認農	養鶏(ブロイラー)専業	0.87 ha	ha	養鶏(ブロイラー)専業	0.87 ha	ha	49	
50	利用者	露地園芸複合	0.99 ha	ha	露地園芸複合	0.86 ha	ha	50	
51	認農	肉用牛肥育専業	0.77 ha	ha	肉用牛肥育専業	0.77 ha	ha	51	
52	到達	養豚一貫専業	1.34 ha	ha	養豚一貫専業	0.74 ha	ha	52	
53	認就	露地園芸	2.38 ha	ha	露地園芸	0.70 ha	ha	53	
54	利用者	露地園芸	0.69 ha	ha	露地園芸	0.69 ha	ha	54	
55	利用者	肉用牛繁殖複合	0.68 ha	ha	肉用牛繁殖複合	0.68 ha	ha	55	
56	到達	肉用牛肥育専業	1.25 ha	ha	肉用牛肥育専業	0.67 ha	ha	56	
57	到達	水稻複合	1.39 ha	ha	水稻複合	0.67 ha	ha	57	
58	認農	椎茸専業	0.11 ha	ha	椎茸専業	0.63 ha	ha	58	
59	認農	露地野菜複合	0.63 ha	ha	露地野菜複合	0.63 ha	ha	59	
60	利用者	水稻	0.52 ha	ha	水稻	0.62 ha	ha	60	
61	認農	肉用牛肥育専業	0.00 ha	ha	肉用牛肥育専業	0.58 ha	ha	61	
62	利用者	露地園芸	0.53 ha	ha	露地園芸	0.53 ha	ha	62	
63	利用者	椎茸複合	0.71 ha	ha	椎茸複合	0.49 ha	ha	63	

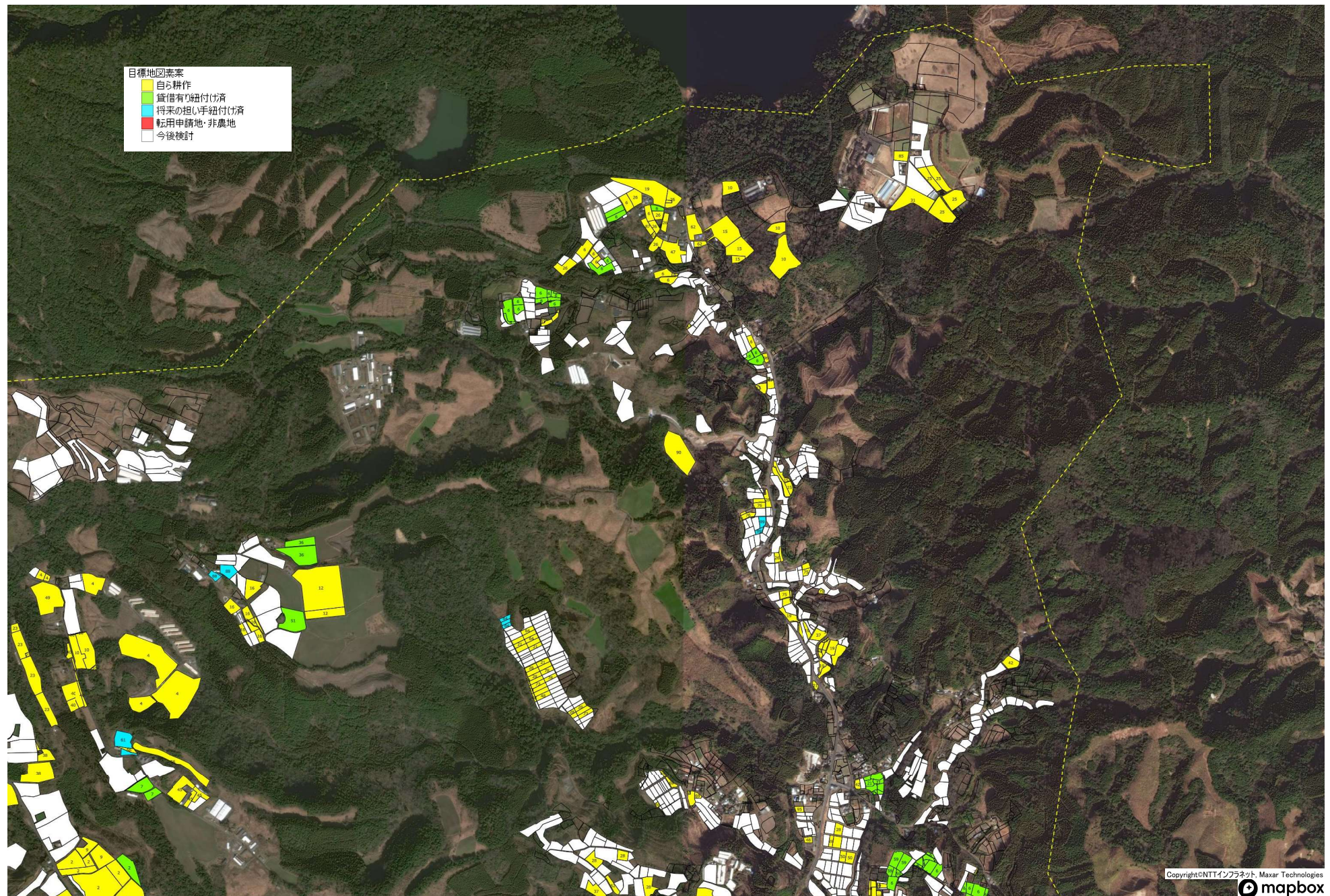
4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
64	利用者		露地園芸	0.30 ha	ha	露地園芸	0.48 ha	ha	64	
65	到達		水稲複合	1.40 ha	ha	水稲複合	0.46 ha	ha	65	
66	利用者		水稲	0.41 ha	ha	水稲	0.41 ha	ha	66	
67	利用者		水稲	0.39 ha	ha	水稲	0.39 ha	ha	67	
68	利用者		水稲複合	0.39 ha	ha	水稲複合	0.39 ha	ha	68	
69	利用者		水稲複合	0.37 ha	ha	水稲複合	0.37 ha	ha	69	
70	利用者		露地園芸	0.36 ha	ha	露地園芸	0.36 ha	ha	70	
71	到達		肉用牛繁殖	1.51 ha	ha	肉用牛繁殖	0.35 ha	ha	71	
72	利用者		水稲	0.34 ha	ha	水稲	0.34 ha	ha	72	
73	利用者		肉用牛繁殖	0.33 ha	ha	肉用牛繁殖	0.33 ha	ha	73	
74	到達		水稲	0.33 ha	ha	水稲	0.33 ha	ha	74	
75	利用者		水稲	0.32 ha	ha	水稲	0.32 ha	ha	75	
76	利用者		水稲	0.30 ha	ha	水稲	0.30 ha	ha	76	
77	利用者		水稲	0.30 ha	ha	水稲	0.30 ha	ha	77	
78	利用者		養豚一貫専業	0.43 ha	ha	養豚一貫専業	0.30 ha	ha	78	
79	到達		水稲	0.30 ha	ha	水稲	0.30 ha	ha	79	
80	利用者		水稲	0.29 ha	ha	水稲	0.29 ha	ha	80	
81	利用者		水稲	0.28 ha	ha	水稲	0.28 ha	ha	81	
82	利用者		水稲複合	0.55 ha	ha	水稲複合	0.28 ha	ha	82	
83	利用者		水稲	0.25 ha	ha	水稲	0.25 ha	ha	83	
84	利用者		水稲複合	0.24 ha	ha	水稲複合	0.24 ha	ha	84	
85	利用者		露地園芸	0.22 ha	ha	露地園芸	0.22 ha	ha	85	
86	利用者		和牛	0.20 ha	ha	和牛	0.20 ha	ha	86	
87	利用者		和牛	0.20 ha	ha	和牛	0.20 ha	ha	87	
88	認農		肉用牛一貫専業	0.00 ha	ha	肉用牛一貫専業	0.19 ha	ha	88	
89	利用者		水稲	0.00 ha	ha	水稲	0.17 ha	ha	89	
90	到達		養豚肥育	2.39 ha	ha	養豚肥育	0.17 ha	ha	90	
91	認農		養鶏複合(採卵鶏)	0.00 ha	ha	養鶏複合(採卵鶏)	0.15 ha	ha	91	
92	認農		肉用牛肥育複合	1.32 ha	ha	肉用牛肥育複合	0.13 ha	ha	92	
93	到達		水稲	1.41 ha	ha	水稲	0.10 ha	ha	93	
94	利用者		水稲	0.10 ha	ha	水稲	0.10 ha	ha	94	
95	利用者		水稲	0.08 ha	ha	水稲	0.08 ha	ha	95	
96	利用者		水稲複合	0.43 ha	ha	水稲複合	0.05 ha	ha	96	



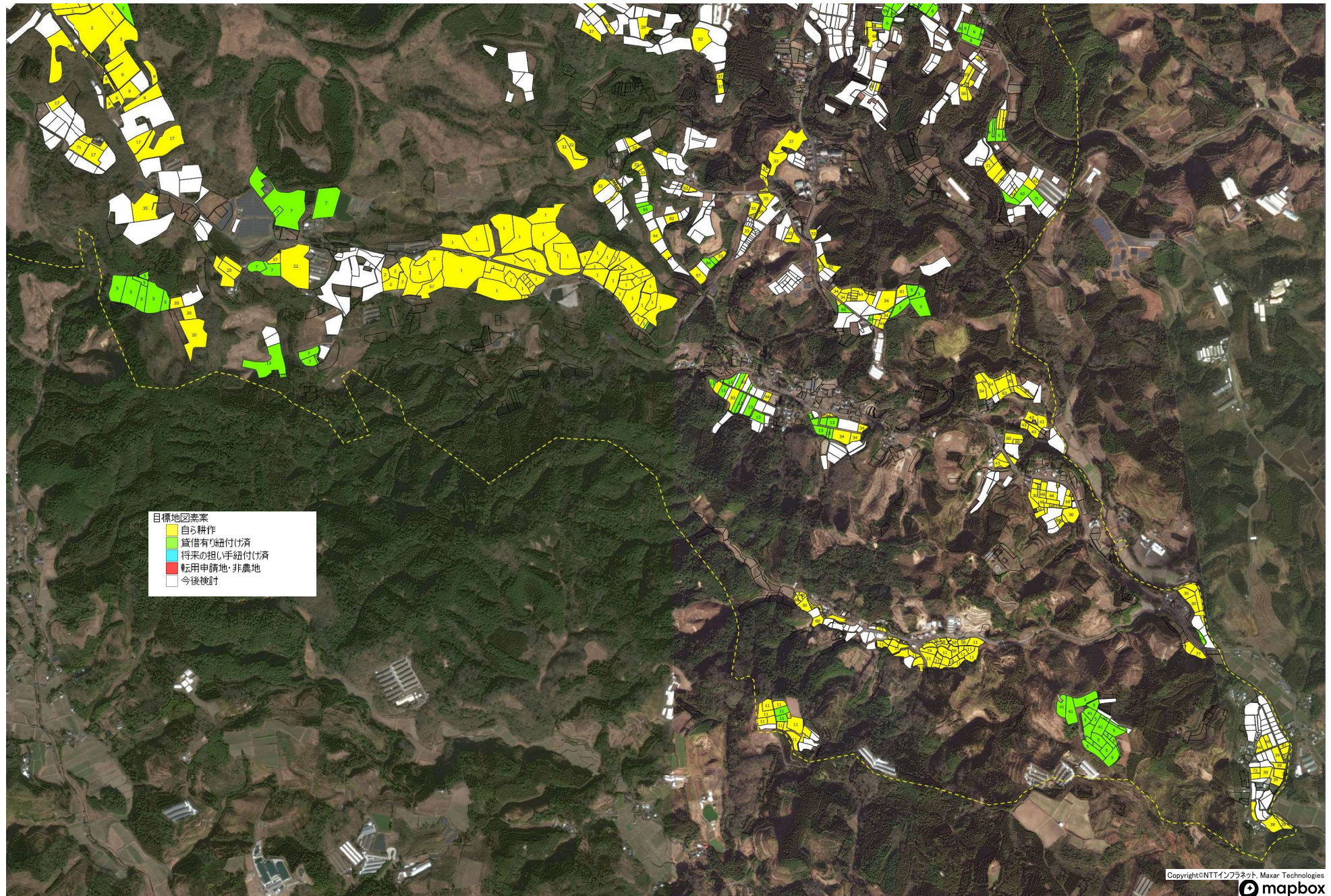
R8年度 西岳北部地区 目標地図②

R8. 6. 30



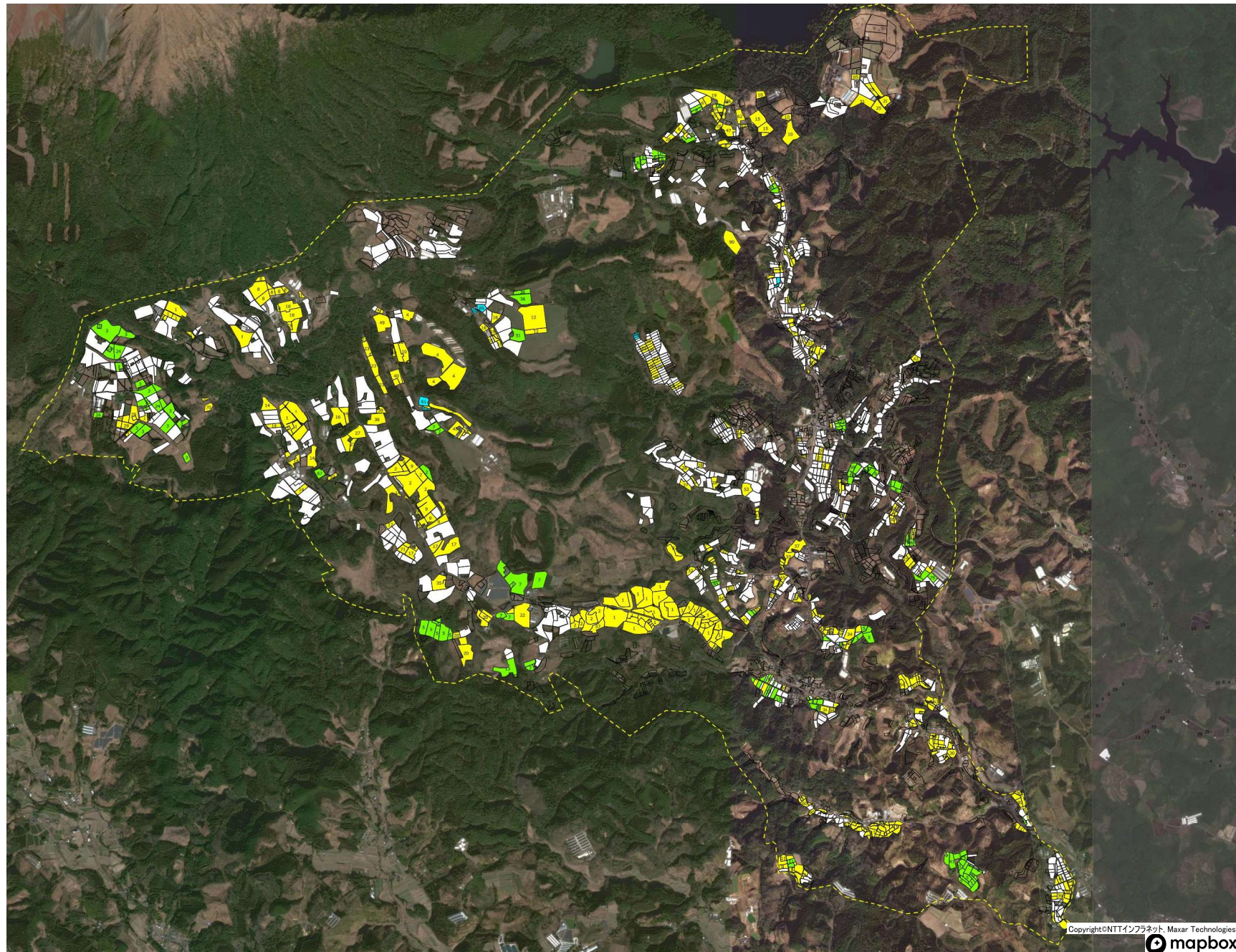
R8年度 西岳北部地区 目標地図③

R8. 6. 30



R8年度 西岳北部地区 目標地図 全体図

R8. 6. 30



- 目標地図(素案)
目標地図(現状)
- 目標地図素案
- 自ら耕作
 - 貸借有り紐付け済
 - 将来の担い手紐付け済
 - 転用申請地・非農地
 - 今後検討